

「田代の郷温泉管理運営経費」議事録 追記

<p>※追記</p>	<p>本議事（下線部）の中で、平成23年4月以前の資料がないと回答いたしましたが、平成22年3月から平成23年4月までの源泉地下水位の記録及び揚湯量の記録が保存されていました。</p>
<p>森委員による補足コメント（源泉記録の一部発見という担当課よりの後日報告に対して）</p>	
	<p>「保存していなかった」と回答された記録が、仕分け終了後の早期に見つかるなど、あまりに不自然である。 後日、記録の一部が発見された時点で、「記録せずに消していた」という説明は破たんしている。</p> <p>① 仕分け席上での「開業当初は県の許可の7割の量で揚湯していた」との発言。 ② H22.6.22 市議会常任委員での、観光課長の（源泉水位低下の原因調査に関して）、「とにかく現況把握という以外に、今のところ手を打つというか、方法がございませんでしたので、水位の変化状況というのを毎日観察しているところでございます。」との発言。 ③ 開業2か月後の6月議会に「濾過加温装置」4100万円の追加が上程されている。（露天浴槽の湯温低下対策。この時点で当然、湧出温度、揚湯量が確認されているはず。）等の事実から、当時の源泉の記録管理には相当の注意が払われるべきであったと考えられる。</p> <p>もし「保存していなかった」という説明の通りであるならば、「建設に13億円を費やした市民の財産を誠実かつ適切に管理する責任意識」に欠けており、「担当課もふくめ開業時から現在までの管理体制に大きな問題がある。組織統制・職員意識の抜本的な改革が必要。」とのコメントを追加せざるを得ない。 （なお、開業からH22.2月までの記録（水位低下開始の時期を含む）は発見されていない。） *別紙の時系列対比を参考にされたい。</p>